



1学期が始まって1か月余りが過ぎました。校長室の窓から外を覗くと、忌部の山々の木々の緑が美しい、まさに新緑の眩しい季節となりました。また休み時間には、緑鮮やかな芝生の校庭で、思い切り体を動かし、楽しそうに遊びまわる子ども達の姿も見られます。ぐんぐんと伸びる若葉のように子ども達も新しい学年の生活にすっかり慣れ、自分らしさを出しながら活動しています。

授業公開日

5月14日（火）、今年度初めての授業公開並びにPTA総会・学級懇談会を行いました。当日は、お忙しい中にも関わらず、多数の保護者の皆様にお出かけいただき、ありがとうございました。どの子ども達も学年が一つずつ上がり、昨年と比べて、また一つ成長した姿を見ることができたのではないのでしょうか。そして、つい先日まで保育園・幼稚園の園児だった1年生も、45分間の授業をしっかりと受ける姿を目にされ、安心されたのではないのでしょうか。私も各教室を回りましたが、各クラスとも、子ども達が一生懸命考えながら学びに向かう姿が見られ、とても嬉しく思いました。今後も子ども達の「ワクワク」した気持ちを高め、一人一人の「自信」を高めていけるよう、教職員一同、努力してまいります。

また、総会では新旧のPTA役員の交代が行われました。旧役員の皆様には、様々な活動を進めていただいたことに、改めてお礼申し上げます。1年間お世話になり、ありがとうございました。そして新役員の皆様には、新たな忌部小PTA活動発展のために、お力添えをいただきますよう、よろしくお願いいたします。





5年：社会



6年：理科

なかよし集会

5月2日（木）、新しい仲間である1年生を迎えて、これから始まるたてわり班活動の仲間と仲良くなることをねらいとして、なかよし集会が行われ、



1年生一人一人が自己紹介をしたり、たてわり班ごとでも自己紹介をしたり、全校でクイズをしたりして楽しみました。最初は、緊張感でドキドキだった1年生も、次第に上級生達と打ち解け、すぐに自分らしさを出して仲良く一緒に活動することができました。今年度の本校の全校児童数は、118名です。この会を契機に、全校118名が学年の枠を超えて、互いに助け合い、大切にし合いながら、「笑顔」あふれる忌部小学校にしていって欲しいと思っています。

また、この会の企画・運営をしたのは、新たに最高学年となった6年生です。1年生に喜んでもらおうと、懸命に準備や練習を重ねてきました。おかげで、全校がワクワクしながら笑顔になることができました。さすが、学校のリーダーとも言える立派な姿を見ることができ、嬉しく思いました。6年生にとっても、一つの「自信」になったと思います。これからの活躍も期待しています。

遠足（1～4年生）

5月17日（金）、1～4年生で出雲科学館及びゴビウスに遠足に行きました。出雲科学館では、遊びを通して科学を身近に感じることができました。またゴビウスでは、宍道湖に生息する多種多様な生物に親しむこともできました。そしてお昼には、おいしいお弁当を食べたり、思い切り遊んだりして、楽しく充実した思い出に残る一日を過ごすことができましたと思います。



活躍する4年生

また、いつものたてわり班活動では6年生がリーダーですが、この日は4年生がリーダーでした。初めての役割に大変だったことと思いますが、準備を重ねることで、「ワクワク」感が高まり、当日の下級生に優しく声をかけ上手にまとめる姿は、とても立派でした。この経験が「自信」となり、今後に生かされることと期待しています。

令和6年度 学校経営方針

5月14日（火）に行われたPTA総会の中で、今年度の学校経営方針について説明しました。今年度の学校教育目標は、昨年度同様、

「関わり合い 磨き合い 鍛え合う 児童の育成」

としました。

そして、子ども達にも示しているキャッチフレーズは変更しました。今年度は、

～ワクワク・笑顔・自信 あふれる忌部小学校～

です。「ワクワク」については、学習の源は「やってみたい」「やってみよう」という気持ちだと思いますので、日々の様々な学習活動に関心をもって意欲的に取り組んでほしいと思っています。そして、「笑顔」については、みんなが笑顔で学校生活を送れるように、一人一人が他者を大切にできるようになり、心を豊かにしてほしいと思っています。最後、「自信」については、できることやわかることをどんどん増やして力をつけ、その力を自信にしてほしいと思っています。そして、その自信は、学ぶ自信、生活する自信になり、生きる自信にもなっていくと思います。忌部の子ども達は、様々な力をつける可能性を無限に持っています。その付けた力を自信にしその自信をどんどんふくらませて、たくましく生きる力をつけてほしいと思っています。

さらに、その目標やキャッチフレーズの具体像として、めざす学校像・子ども像・教職員像を掲げています。特に、めざす学校像については、子ども達がよりよく成長していく場としての学校がもちろんメインですが、我々教職員にとっても働く場であり、保護者や地域の皆さんにとっても集う場となっていますので、そのあたりを踏まえて変更しています。

《児童・教職員・保護者・地域の方にとって》

安心・安全な学校 一人一人が大切にされる学校
豊かな学びのある学校 自信ふくらむ学校 信頼できる学校

にしたいと考えています。教職員にとっては、その資質や指導力が向上できる場として、保護者の皆さんにとっては、親として成長できる場として、地域の皆さんにとっては、生きがいややりがいを感じられる生涯学習の場として、学校はありたいと思っています。

そして、こうした目標を実現するためには、学校と家庭と地域がよりよく連携することが大切だと考えています。学校は、児童のよりよい成長のためにあります。家庭は、我が子のよりよい成長を一番に願っています。さらに、地域の皆さんも、地域の子どものよりよい成長を願っておられると思いますので、3者が「子どものよりよい育ち」のために、この1点でつながること・連携することがとても大切です。その中で、子ども達がよりよい成長ができれば、3者にとってのメリットとなりますので、まさにwin・winの関係となります。この1年、「子どものよりよい育ちのためのパートナーとしての連携」をお願いします。

また、PTA総会では学校運営協議会についても説明しました。



学校運営協議会

地域住民・保護者が学校運営へ参画し、支援・協力を促進することにより、学校・家庭・地域が一体となって学校運営の改善並びに児童の健全育成に取り組むことを目的として、令和4年度より、まつえ湖南学園3校（湖南中・忌部小・乃木小）に学校運営協議会制度が導入されました。本校では、次の方々に令和6年度の協議会委員を委嘱し、ご意見を伺いながら、よりよい学校運営に当たりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。なお、1回目の協議会は6月18日（火）に実施する予定で、その様子については校報等で、改めてお知らせします。

【令和6年度 忌部小学校運営協議会委員】

- 福島 貢 様（忌部教育会相談役、再任） ○山田 精一 様（忌部公民館運営協議会会長、再任）
- 石飛 秀人 様（忌部公民館館長、新任）
- 長岡 和志 様（忌部小PTA会長、新任） ○下原はるみ 様（忌部小PTA副会長、新任）

ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この1年、子ども達は、家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんあると思います。その様子の一部をこの校報でもお知らせしたいと思います。この1ヵ月の様子は、次のとおりです。

城山城見学

4月26日（金）、6年生が城山城（じょやまじょう）の見学を行いました。歴史講師の宍道先生をはじめ、事前の登山道整備や当日の支援など、多くの地域の皆様にご支援いただきました。子ども達は、戦国時代の尼子・毛利氏の勢力争いに関する山城がふるさと忌部にあることを知り、戦国時代の歴史やふるさとについての理解を深めることで、これから本格的に始まる歴史学習を身近に感じられるようになったと思います。



読み聞かせボランティア

5月10日（金）から地域の方や保護者のボランティアさんによる朝の読み聞かせが始まりました。対象は1～3年生となります。子ども達は、学級朝礼が始まるまでの時間、読んでもらっている本に集中したり、気持ちの良い笑いに包まれたり、ボランティアさんの素敵な人柄に触れたりするなど、学校生活のスタートをととても良い形で切ることができたように感じました。今後、原則金曜日の予定で実施されますので、少しでも多くの読書好きの子ども達が育つことも期待しています。

